

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ

常木らくだ

ブログ出版局

こんにちは、らくだです。

8月の賞に参加された皆様はお疲れ様でした。

9月も小学館やMF等がありますが、投稿予定の皆様は頑張りましょう。

さて、今日はなろう系の話題を。

第2回ライト文芸新人賞（旧：MF ブックス&アリアンローズ小説家になろう大賞）の最終結果が発表されました。

【MF ブックス部門】

<http://mfbooks.jp/award/02/kekka.html>

【アリアンローズ部門】

<http://www.arianrose.jp/award/02/kekka.html>

しかし個人的な印象ですが、なろう系のネット小説のコンテストって、総評とかのフィードバックが応募者寄りで親切だなんて思います。

ネット小説じゃない公募の賞だと、総評がない場合も多いですしね……。

それだと送って落ちた者としては、シャドーボクシングをしてる感じで……。

パッと明かりがついてみれば、敵だと思って何年も殴り続けていたのは実は壁だった、みたいなシチュエーション。

なんかもう、自分の7年間ちょいに及ぶ投稿生活は、ずっとそんな感じだったような気がします（汗）

そんな自虐めいたネタはさておき、秋は自分が一番好きな季節なので、精力的に活動したいと思います。

こんにちは、らくだです。

今回もなろう系の話題ですが、一迅社となろうのタイアップ企画「第1回恋愛ファンタジー大賞」の結果が、公式サイトで発表されました。

受賞された皆様はおめでとうございます！

【発表ページ】

http://www.ichijinsha.co.jp/special/iris/renaif_award/final/

それにしても、最近は賞の数が昔より飛躍的に増えているので、ブログの話題が追いつかないことが多々あります（汗）

主な原因は、

- ・年に複数回締切りを持つ賞が増加
- ・なろう等ネット小説のコンテストが激増
- ・ラノベ業界に参入する会社&レーベルが増えた

ってところでしょうか？

電書オンリーの賞は基本的に取り上げていませんが、それも含めたら、いくつレーベルが存在するのって感じですよね。

しかしなあ……。

それだけ賞の数が増えても、成績は上がらないんだから、不思議なもんよなあ……。

（遥か遠くを見つめながら）

というわけで話が大幅にそれましたが、第2回の締切りは間もなく（9月19日）なので、投稿される皆様は頑張ってください！

こんにちは、らくだです。

最終結果が発表されたばかりのえんため大賞ですが、pixiv サイトで開催中の『P-1 グランプリ』において、受賞作品のイラストレーターを募集するそうです。

予選期間は終わっているのですが、今からエントリーすることはできませんが、おもしろい試みですよ。

【えんため大賞】

<http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/index.html>

【P-1 グランプリ】

<http://www.pixiv.net/p1/2015/>

それにしても、ふと思ったんですが……。

プロの小説家を目指そうと思った場合、公募へ応募するのが今のところ一般的ですが、絵の場合は少し状況が違いますよね。

イラストレーターを目指す場合、どこかの新人賞で受賞してデビューというよりも、「pixiv 等で作品を公開 ⇒ 企業から声がかかる」ってケースが主流な気が。

そこは絵と小説の大きな違いだと思っていたんですが、ここ最近は小説でもスカウトデビューの比率が増えているし、その傾向はこれからますます強くなるように感じます。

まあ、でもね……。

先日もグチった通り、どれだけチャンスが増えようが、自分の投稿成績は……。

という、お決まりのオチで、今回の記事は失礼します。

こんにちは、らくだです。

1週間遅れての紹介になりますが、角川文庫キャラクター小説大賞の最終結果が、公式サイトで発表されました。

受賞された皆様はおめでとうございます！

【公式サイト】

<http://www.kadokawa.co.jp/contest/character-novels/>

応募総数	225 作
1次通過	18 作 (8%)
2次通過	4 作 (約 1.8%)
受賞作品	3 作 (約 1.3%)

リンク先で最終候補作のあらすじが読めますが、4作品ともジャンルは(たぶん)ミステリーで、事件や事故を扱ったストーリーみたいですね。

なるほどなあ……。

ミステリーって読者を惹きつける吸引力あるもんなあ……。

でも正直、事件を書こうとしても、ストーリーが浮かばないです。
事件レベルに執筆センスがない自覚だったら充分にあるんですけど。
(ナチュラルに卑屈)

まあともかく、第1回と書いてある以上は、第2回もあるんだろうと勝手に期待。

短編連作を募集している珍しい賞ですし、次回の開催&締切りがいつになるのか、今後の情報を追っていきたいです。

インスタントラーメン発明記念館- 2015.09.05 Sat

大阪府池田市にあるインスタントラーメン発明記念館へ行ってきました。

横浜にも同様の施設がありますが、こちら池田はインスタントラーメン発祥の地だけあって、入館料無料（！）という大盤振る舞い。

場所は阪急池田駅から約5分で、閑静な住宅街の一角にあります。



この記念館の目玉は、自分でオリジナルカップヌードルが作れる、その名も「マイカップヌードルファクトリー」！

その前に施設を見学しておきましょう。

建物の前には創業者である安藤百福さんの像がありました。



片手にチキンラーメン、台座はカップヌードル！

入館するとすぐ左手にギフトショップがあります。

ご当地カップラーメンやひよこちゃんグッズ等が売られていました。



順路に沿って進んでいくと、歴代の製品を時代順にズラリと並べた、展示エリアに遭遇しました。

壁一面……どころじゃなく、天井まで続いています（汗）
カップラーメン好きにとっては、テンションが上がる光景ですね。



続いては、カップラーメンの歴史を学べる、展示パネルのコーナーです。

下はチキンラーメンが誕生した研究小屋だそう。
ちょっと小さくて見えにくいですが、右下にニワトリ小屋がありますね。



インスタントラーメンって、あまりたくさん食べると健康に悪そうですが、つい手が伸びるんですよね。

特に夜中は危険……。

深夜のカップラーメンは何故あれほど魅惑的なのでしょう……。



こちらは断面図の模型ですが、中はこうなっているそうです。

- ・ 輸送中の割れ防止のため麺は固定されている
- ・ 具を乗せやすいよう上の方はたいら&麺の量が密
- ・ お湯の熱が伝わりやすいよう、下の方には秘密の空間がある

等々の知恵があるそうです。



こちらはチキンラーメンファクトリーの様子。
小麦粉を練るところから始まる、本格的な手作り体験ができます。

要予約なので今回は挑戦できませんでしたが、なかなか出来る体験ではないですし、機会があればまたチャレンジしてみたいです。



長くなりそうなので、今回は一旦ここまで。

次回は「マイカップヌードルファクトリーで、手作りカップラーメンに挑戦！」の巻をお届けします。

手作りカップヌードル - 2015.09.06 Sun

こんにちは、らくだです。

今回はカップヌードル手作り体験の様子をお届けします。

土日祝日はかなり並ぶようですが、自分が行った時は偶然タイミングが良かったのか、すぐに入場することができました。



まずは自販機で専用のカップ（300円）を購入。

その後いったん席に座って、箱をデコレーションします。

油性マーカーに耐えるためか、通常のカップよりも、少々ぶ厚い気がしました。



デザインが無事終わったら、列に並んで、中身を詰めてもらいます。

テキパキとした流れ作業ですが、このカップラーメンを作る工程がなかなか興味深く、思わず見入ってしまいました。

まさに社会見学！



カップ麺一つ 300 円は高いですが、この辺の見学料も含まれていると思うと、むしろ安いような気がします。

続いてはお待ちかね、トッピング選択です。

これだけたくさん並んでいると、ついつい目移りしちゃいますね。



風味は 4 種類から 1 種類を選択。

具材は 1 2 種類から 4 種類を選択。

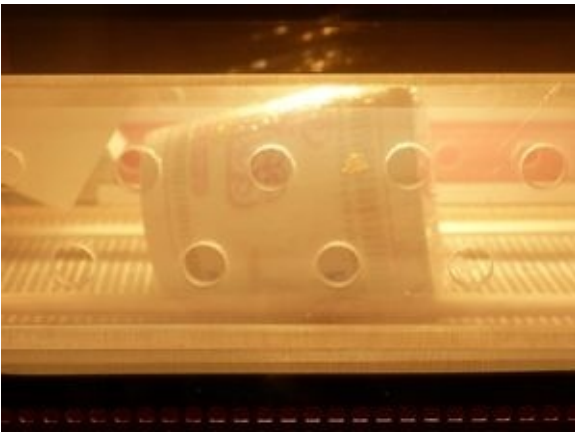
希望の内容を伝えると、スタッフのお姉さんがトッピングして、フタを閉じてくれます。

今回はカップの柄（らくだヌードル）に合わせて、風味はオリエンタルなカレー味、具材はスタンダードな 4 種類を選んでみました。



続いてはコチラ。
仕上げのシュリンク作業です。

薄めのフィルムに包んだ後、専用の機械で熱を加えます。



この写真は機械の中の様子。
ちょっと見えにくいですが、フィルムが縮んでいきます。

というわけで、無事に完成～！



インスタントラーメンは元から好きですが、こうして製品が作られる工程を見ると、さらに愛着が湧くから不思議なものです。

家に帰った後さっそく食べると、市販品よりも具が多いせいか、または自分で作った満足感か、普通よりもおいしい気がしました。



そんなこんなの、カップヌードルファクトリー。

駅から割と近いですし、予約なしで誰でも手作り体験できるので、お近くの方は出掛けてみてはいかがでしょうか？

こんにちは、らくだです。

近ごろ急に涼しくなりましたね。

6月や7月が異様に暑かった分、秋も早いということでしょうか。

さて、今回は翻訳の話題を。

このブログでちょくちょく紹介している、「いたばし国際絵本翻訳大賞」ですが、2015年分の受付が始まっています。

【応募要項】

http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_oshirase/071/071122.html

<課題絵本>

英語部門：「CITY CAT」

イタリア語部門：「la nave」

あらすじを見たところによると、今年の課題は、どちらも旅モノっぽいですね。

旅モノ絵本、大好きなのよね……。

3年前の「ORANI」とか、作品の内容的に、ほんとツボだった……。

というわけで、去年はタイミング的に参加できませんでしたが、今年は復帰しようかなーなんて考えてみたり。

ちなみに翻訳の賞は、受賞を狙って出すんじゃなく、自己啓発で取り組む感じですよ。

まあ受賞を狙っている小説の賞も、結果は全滅なわけですけど……（安定の自虐）

とにかくそんなわけで、いたばしは11月が締め切りなので、スケジュールに組み込もうと思います。

こんにちは、らくだです。

集英社ラノベ新人賞の3次発表があったので、いつも通り、アドレスと通過数のデータを載せておきます。

通過者の皆様はおめでとうございます！

【発表ページ】

<http://dash.shueisha.co.jp/award/dx3rdAward/result.html>

応募総数	553 作
1次通過	139 作 (約 25 %)
2次通過	33 作 (約 6 %)
3次通過	9 作 (約 1.6 %) NEW!

ちなみに応募数の推移を見ると、前回の10月締切りが884作だったから、今回は結構減った感じですね。

ただし応募総数が減少したからといって、通過がラクになるわけでは決していないので、次回も気を引き締めて臨もうと思います。

あと前も書きましたが、去年は評価シートが来なかったのので、今年は返信用封筒をちゃんと写真に撮って、そこも抜かりなく攻めたいです(汗)

話題を元に戻しますが、今回分の4次発表は、9月中旬らしいです。
今日がすでに9月8日なので、来週には発表される感じでしょうか。

4次通過=最終なので、リストの中からどの作品が選ばれるのか、結果を楽しみに待ちたいと思います！

このポケットティッシュなんだけどさ……。



これって全員に配ってるんだよね？

まさか痴漢しそうな人に配ってるわけじゃないよね？

という疑問はさておき、「8月分のブログはダウンロードできないんですか？」という、質問を頂戴しました。

レスが遅れてしまってすみません。

正直言うとレスだけじゃなく、人生全般が遅れ気味ですが。

ちなみに真面目に返答すると、エラーが出てしまってPDFが作れない為、先月のパブー版は配信できていない状態です。

ファイルを変えてもダメなんです。

ブラウザを変えてもダメなんです。

日付と時間を変えてもダメなんです。

ええい、チクショー！

こんなエラーばっか出るんなら、パブーなんてやめてやるぜ！

と思っていたんですが、待ってくれている方がいるようなので、もうちょっと色々試してみますね（汗）

とにかくそんなわけで、作業の遅れを取り戻すと同時に、人生の大幅な遅れも取り戻したい最近です。

以上、痴漢は犯罪ティッシュの紹介と、配信ができていない件の報告でした。

電撃大賞の最終選考作品が発表されました。

4次と同時更新だったはずの3次発表が、今年は1か月前倒しで襲来しましたが、これで一段落といったところですね。

参加された皆様は本当にお疲れ様でした！

【発表ページ】

http://dengekitaisho.jp/announce_22_01.html

応募総数	4,580 作
1次通過	592 作 (約 12.9 %)
2次通過	202 作 (約 4.4 %)
3次通過	78 作 (約 1.7 %)
4次通過	10 作 (約 0.2 %) NEW!

最終選考のリストに「駱駝」という筆名の方がいるんですね。

話の内容はわかりませんが、名前が同じよしみで、自分はこの方を応援します。

あっ、そうだ！

自分もあやかって、漢字に改名しよう！

<ペンネーム：常木駱駝>

らくだって平仮名で書くと可愛い雰囲気だけど、漢字だと一気にゴツイというか、強力な必殺技を繰り出しそうなイメージ。

それはさておき、受賞作品の発表は例年通りなら1か月後のはずなので、今年はどの作品が選ばれるのか見守りたいと思います。

えんため大賞のお知らせが更新されました。
評価シートの発送が完了したという案内みたいです。

【えんため大賞トップ】

<http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/index.html>

ツイッターで投稿者さんの眩きを見ると、どちらの部門も、数日前から届き始めているようですね。

え、自分？

1次落ちだから関係ないよ！（ニコッ）

それにしても不着時の問い合わせ先を、こんなにはっきり書いてくれている賞は、あまりないような気がします。

こういう対応が丁寧な賞って素敵ですよ。

来年も投稿しているかわかりませんが、仮にしていたなら来年も送りたいです。

あとそれから、話は変わりますが。

昨日の記事を書いた後、駱駝様ご本人からメールを頂戴し、嬉し恥ずかし気分です。

直接お返事しましたが、ありがとうございます！

書店で作品を手にとれる日を楽しみにしています！

なんというか、交流している投稿者さんが階段をのぼっていく様子は、いつ見ても本当にすがすがしいものですよ。

というわけで、周囲の方々がこんなに頑張っているのだから、自分も負けていけないなと思いました。

朝起きてふと外を見たら、気球が浮かんでいました。

なんだコレ！

めっちゃめっちゃデカイぞ！



一瞬乗ってみたいなあーと思ったけれど、自分は高所恐怖症なので、いざ乗ったら絶対後悔するパターン。

後悔といえば下の写真。

オーストラリアで体験したパラセイリングは地獄でした。



上昇しきると安定するんですが、上がるまでがリアルに怖すぎ。

空を飛ぶって苦痛ですね。

間違っって鳥に生まれなくて本当によかったです。

しかし、そのパラセイリングの上に行くレベルで、乗って後悔したアトラクションがあったりします。



米ディズニーランドにある観覧車ですが、ゴンドラが外周に固定されていないため、上の方に行くと内側へ向かって自然落下するのです。

「怖い人は赤いゴンドラ（固定）に乗ってね」と言われたんですが、見栄とプライドとチャレンジャー精神を発揮して、わざわざ落ちる方に乗ったっていうね……（滝汗）

その時の空中に投げ出される感覚ときたら、まるで倒壊するビルの中にいるようで、楽しいどころか激しいトラウマ体験になりました。

<結論>

人間は地面の上が一番だ！

こんにちは、らくだです。

電撃の記事でお名前を書いたせいか、「駱駝 ブログ」や「駱駝ツイッター」という検索でここへ来る方がいるようで、なんだか申しわけない気分です。

すまん……。

ここにあるのは常木らくだの情報だけや……。

でもやっぱり、電撃の最終ともなると作者について検索する人が多いんだと、改めて再確認。

自分は別に目立ちたがり屋ではないですが、書いた文章を人に読んでもらうのが趣味なので、そういう意味で注目される立場には憧れちゃいます。

もちろん影響力が大きい分、背負う責任も大きいだろうし、大変だろうとは思いますが。

ただ作家という立場は、望んだ全員に与えられる物ではないので、すでに作家になっている方々には頑張っ
て欲しいなあーと思います。

あ、でも。

作家になれなかったとしても、自分にはブログがあるから、そういう意味では幸せかも。

文章を披露できる場所があって、それを読んでくれる人がいるっていうのが、人生最大の喜びですからね。

これは双方向の関係というか、仮に読み手が一人もいなかった場合、自分のこの幸せは成立しません。

そういう意味で今あるこの環境は、これからも大切にしたいです。

MF（6月締切り分）の1次発表がありました。

そうだった……。

今はメール発表じゃなくて随時サイトに載るんだった……。

通過したよと教えてくださった方、どうもありがとうございました！

幅広い賞をチェックするようにはしていますが、一人では漏れも多いので、今後も指摘してくださると嬉しいです。

【発表ページ】

<http://www.mediafactory.co.jp/bunkoj/award/result/#first>

応募総数 415作

1次通過 129作

通過率 31%

MFは通過者の年齢が掲載されるので、そういう意味でも興味深いですね。

しかし最年少が15歳って……。

下手すると中学3年生じゃないですか……。

それと同時に上も幅広く、30代や40代以上の方も結構いらっちゃって、励まされる思いです。

あと通過者の平均年齢、数年前より上がってる？

データとかないし体感ですけど、以前はもっと低かったような？

というわけで、面白ければ年齢は関係ないと立証(?)されたので、自分もふて腐れずに頑張ろうと思います！

先日の高所恐怖症の話ですが、意外と評判が良く、書いた本人が驚いています。

言えない……。

ネタがないから過去の写真を引っ張ってきたなんて……。

それはさておき、シンガポールのセントーサ島のケーブルカーが、非常に怖かったという報告をいただきました。

おおっ！

それなら乗ったことがあるよ！



海の上をってセントーサ島へ向かうケーブルカーです。

写真は山側から撮影した物ですが、これがもう、驚くほど高い場所を通るのです。

しかも海上だから風が強い！

その度にゴンドラが揺れまくる！

ただこのケーブルカー、誇張抜きで本当に高い場所を通るので、悪天候の場合は割とすぐに止まってしまうとか。

乗れたらラッキーなのか、乗れない方がラッキーなのか、判断に迷うところですね。



こちらはオマケ。

セントーサ島のビーチにある、「アジア大陸最南端」の看板。

シンガポール自体がいわば島なので、アジア大陸と言えるかどうかは微妙ですが、セントーサ島はとても楽しくて居心地がいい場所でした。

旅行ネタはこの他にもたくさんあるので、投稿の話を邪魔しない程度に、今後も載せていこうかなと思います。

こんにちは、らくだです。

ここ数日涼しいというか、肌寒くさえ感じますね。

9月までがっつり暑い年が続いていたので、こんなに涼しいと戸惑ってしまいます。

さてさて。

本日は賞の紹介を。

小説ではなく作文ですが、日本語大賞が開催中です。

詳しい応募要項は日本語検定の公式サイトに掲載されています。

【日本語大賞】

<http://www.nihongokentei.jp/amuse/grandprize/>

- ・ テーマ 私が使いたい言葉
- ・ 締切り 9月30日（水）
- ・ 文字数 2,000字～3,200字（一般の部）

一般の部は規定文字数が一番多いのですが、それでも2,000字～3,200字なので、今から取り組むのも充分可能ではないかなと。

あらすじで1,200字とかザラですもんね……。

そう思うと投稿者って途方もない量の文章を書いていますよね……。

あとそれから、賞金が20万円だったりするので、文字数の割には金額が大きいと思います。

（もちろん金銭目的で送るわけじゃないですが）

というわけで今回は、日本語大賞の紹介でした。

リンク先に要項のPDFが載っているので、興味のある方は確認してみてください。

ニコニコのプレミアム会員になったら、視聴者が多い生放送でも、閲覧中に追い出されなくて超快適。

ふはははは……！

勝つのはカネがある者だ……！

(ソシャゲで課金無双する廃人並みの感想)

それはそうと、東京ゲームショウが始まりましたね！

今日はビジネスデー 1 日目でした。

明日はビジネスデー 2 日目で、土曜日と日曜日は一般デーです。

【公式サイト】

<http://expo.nikkeibp.co.jp/tgs/2015/index.html>

自分はゲーム寄りのオタクなので、TGSは、コミケ以上に嬉しいイベントです。

残念ながら現地へは行けませんが、ニコニコ配信で楽しむ予定です。

いや、本当は行きたいけどね……。

ただ上京する交通費で、ゲームが5本くらい買えると思うと、二の足を踏んじゃう……。

というわけで、せめて確実に見たくてプレミアム会員になり、冒頭の叫びへ以下ループ。

それにしても、こういうイベントが盛り上がっているのを見ると、日本のサブカル産業ってすごいんだなと改めて実感します。

できれば消費者側ではなく、創作する側の人間になれば、嬉しいんですけどね。

今のところその日は遠いみたいですが、落胆して消費者の楽しみまで失うのは勿体ないので、イベントを全力でエンジョイしたいです。

こんにちは、らくだです。

先日MF通過者の年齢について語ったら、結構反応してくださった方がいたので、今日はその話の続きをしてみます。

そうだよね……。

やっぱり年齢の話って、気になっちゃうよね……。

あ、一応載せておきますが、通過リストはこちらです。

【発表ページ】

<http://www.mediafactory.co.jp/bunkoj/award/result/#first>

平均年齢が上がったように見えるけど、実際のデータはどうなんだろうと思って計算したところ、結果はズバリ「26.13歳」でした。

あ、あれ……？

思ったより高くないぞ……？

てっきり自分の年齢より高いのを期待していて、「だよー安心安心！」と思いたかったのに、これでは完全にセルフダメージじゃないか！

まあ10代や20代前半の方も多いですし、通過者全員の平均ってなると、こんなところなんでしょうか(汗)

あと人口を考えれば当然ですが、在住地は東京率が高いですね。

都道府県や年齢が載る賞は、通過リストを見ながら、色々と考察できて楽しいです。

というわけで2次通過の情報が出たら、懲りずにまた計算しようと思います。

こんにちは、らくだです。

エリュシオンノベルコンテスト（なろうコン）が、「ネット小説大賞」に名前を変えて、来たる10月1日より開催される模様です。

今は概要が載っているだけですが、期間中は特設ページが登場するようですし、今回も盛り上がりそうですね。

【公式サイト】

<http://www.wtrpg9.com/novel/narou4.html>

それにしても……。

前回の応募総数は、6,284 作品という……。

今年の電撃が 4,580 作品だったから、現在もっとも規模が大きい賞は、なろうコンという状況ですね。

というわけで、詳しい要項が発表されたら、また改めて紹介したいと思います！

それから、もう一つお知らせを。

今更ですが8月分のブログをパブーにアップしました。

どうやらシステムの不具合(?) だったようで、問い合わせしたら直してもらえました。

【らくだ図書館(44)】

<http://p.booklog.jp/book/101043>

質問してくださった方、大変お待たせしました。

PDFもアップしたので、よろしくお願いします。

いよいよシルバーウィークが始まりましたね！

連休前半は近場散策ということで、中之島公園で展示されている、ラバーダックを見に行きました。

こちらは会場へ向かう遊歩道。

この近辺は緑が多くて、いつ歩いても快適です。



この一帯には日銀大阪支店・大阪市役所・府立図書館など、いかにも重厚な建造物が並んでいて、大阪の中心でありながらもレトロな雰囲気があります。

下の写真は中央公会堂。

何かイベントをやっているようで、吹奏楽の演奏が聞こえてきました。



建物前の広場にはテントが並び、物販イベントが行われていました。

あ、あれは！

吹田市のマスコットキャラ、「すいたん」じゃないですか！



おい、こっちを見ているぞ……！

そこからしばらく進むと、ようやく会場へ到着です。
ピンクの花壇の向こうに黄色いアヒルさんが見えていますね。



毎年見られるラバーダックですが、今年の展示場所はばらぞの橋横の狭いエリアなので、ちょっと窮屈そうではありました。

会場の混雑を避けるため、橋の上（正面）からの撮影は禁止だそうで、斜めから撮った写真です。



ちなみに展示期間は10月12日までですが、毎日出したり片付けたりしているようで、なかなか大変そうな作業だと思いました（汗）

最後にもう一枚、逆向きの写真を。

クチバシのカーブの具合が、とぼけた感じで可愛いです。



というわけで今回は、アヒルさんの紹介でした。

ラバーダック展示会場の隣りでは、クラフトビアガーデンが行われていたので、次回はその様子をご紹介します！

今回はラバーダックの続きです。

会場の横にはキュートなアヒルカーが。
近くにはアヒルワゴンもあり、物販が行われていました。



さてさて。

前の記事にも書いた通り、ラバーダック展示会場の横では、ビアガーデンを開催中。

ビールも気になりますが、まずはコレに挑戦です。



あっぷるマンゴーかき氷！

ずいぶん涼しくなったとはいえ、日中外に出ると暑いですからね。
もともとマンゴーも好きなので、看板を見るなり、つい手が伸びてしまいました。



値段は500円と高めでしたが、その分マンゴーずっしりです。
興奮してガツガツ食べすぎて、頭がキーンとなりました。

慌てない、慌てない……。



続いて挑戦したのはコチラ！
和牛の切り落としステーキです！

かき氷と順序が逆だったような気がします……（汗）



写真はネギの山のようになっていますが、白ご飯が欲しくなる美味しさでした。

ガーリック風味濃厚なモヤシと、口の中でとろける和牛ステーキが、絶妙なハーモニーを奏でます。

最後にオマケ。

立ち食いの最中に見かけた風景。



沈みそうなトラックにも見えますが、こちらは水陸両用のダックバスです。
観光地などでたまに見かけますが、中之島でもやっているんですね。

というわけで、近場で手軽ながら、とても楽しいイベントでした。
連休後半も予定があるので、張り切っていこうと思います！

こんにちは、らくだです。

中途半端な気温が続いているせいか、なんだか微妙に風邪っぽい気がするので、今日は自宅でダラダラと過ごしました。

と書くと話が終わってしまうので、唐突にステーキ画像を貼ってみます。

喰らえー！

飯テロじゃー！



先週食べたフォルクスのステーキ。

ディナーではなくランチですが、パンとサラダが食べ放題です。

ちなみに近場には店がないので、わざわざ電車に乗って江坂まで行ったけど、その価値はある内容でした。

フォルクスいいよね！

うちの近所にもできて欲しい！



ソースをかけると、ジュワジュワ〜ッ！

さながら煙幕のようです。

牛の鉄板も何気なくいい味を出しています。

それから下の写真は、自宅で作った物ですが、ハート型ハンバーグ。

自分で言うのもアレですが、かなり上手く焼きました。



形を強調したくて写真を上下反転させたので、皿の光沢が変な感じですが、とにかくハート型に仕上がっております。

基本的に料理は苦手なのですが、たま～に作ると楽しいですね。
逆に言うと、本当に「たま～に」なので、毎日自炊できる人を尊敬します（汗）

というわけで、特にオチはありませんが、唐突な飯テロでした。

こんにちは、らくだです。

集英社ラノベのブログに記載がありましたが、第3回（4月締切り）について、2次と3次の選評が発送されている模様です。

問い合わせ先なども書いてあるので、届いていない方は要チェックですね。

【評価シート発送のお知らせ】

http://sdbunko.blogspot.jp/2015/09/blog-post_26.html

こういう選評発送の報告記事、前回まではなかったような……。不着に関する問い合わせがよっぽど多かったんでしょうか……。

あと、それから。

次回（10月締切り）の募集について、ゲスト審査員が決定した模様です。

こちらもブログで告知されていますので、該当記事へのリンクを貼っておきます。

【ゲスト審査員決定のお知らせ】

http://sdbunko.blogspot.jp/2015/09/blog-post_39.html

第4回のゲスト審査員は『ワンパンマン』のONE先生！

しかしゲスト審査員が決定しても、自分は1次や2次で落ちる身なので、選考に関係ないじゃないんですが……（汗）

ま、まあいいよね！

「あの先生に読んでもらえるかも」と、ワクワクするのは自由なんだし！

というわけで、次回も送ろうと思いますので、参加される皆様はよろしくお願いします。

函館へ行ってきました - 2015.09.24 Thu

シルバーウィーク後半を利用して函館へ行ってきました！

観光にグルメに盛り沢山な内容だったので、写真の選別がなかなか大変ですが、少しずつアップしていこうと思います。

まずはコチラの一枚から。



空港の到着ロビーで見かけた、あっさぶ町のゆるキャラ君。

カメラを向けたせいか、小首をかしげてピースという、アイドルポーズです。

後ろ姿はゴン太君に似ていました。



空港から駅へはバスで移動。

え？

レンタカー？

ペーパードライバーなので不可能です！

(最後に車を運転したのは、自動車学校の卒業試験)



空港から駅はそんなに遠くないのですが、すごく遠回りな路線に乗ってしまい、移動するのに1時間くらいかかりました。

いいんだ……。

車窓から町の風景を眺めるのも観光なんだ……。

なにはともあれ、函館駅に到着！



曇っているのが残念ですが、さすが北海道だけあって、駅前も広々としています。

左に見えているのは、夜景で有名な函館山。

噂通りの綺麗さでしたが、その様子は、次回以降にお届けします。



駅前にあった新幹線のパネル。

そういえば北海道新幹線の開業が来春に控えていますね。

下の写真は、イカの置物と思いきや……？



なんと郵便ポストでした！

かわいと感じる以前に、「この投入口にレタパは入るだろうか？」と考えてしまった自分は、正真正銘のワナビ体質。

さてさて。

駅に到着した後は、ランチタイムです。



ぐるなびで事前に調べておいた、星龍軒というラーメン屋さん。

写真の通り何人も行列していて、ここでまた1時間待つことに。

予定が狂いまくりですが、それもまた、個人旅行の醍醐味ですね。



北海道＝濃厚というイメージですが、このラーメンは味付けがあっさりしていて、スープ単体でも商品化できそうな美味しさでした。

<結論>

やっぱりラーメンは塩に限る！

そんなこんなで、今回は導入編でした。

次回は青函連絡船「摩周丸」の記事をお届けします。

青函連絡船「摩周丸」 - 2015.09.25 Fri

函館駅に到着した後は、徒歩5分の場所にある、摩周丸を見学しました。

摩周丸は本州と北海道を結ぶ青函連絡船で、航路が廃止になった今は、博物館として函館港に保存されています。



先に言っておきますが、この時はお客さんが一人もおらず、完全に貸切状態でした。

うーん……。

混んでないのは嬉しいけど、誰もいないと逆に不安……。

まあとにかく、行ってみましょう。



館内には一応順路がありますが、基本的に自由に見学できます。

船上に入ってみると、海風が涼しい、というよりも寒い！

函館は海に挟まれた町なので、どこへ行っても風が強く、気温以上に寒さを感じます。



こ、こんなに寒くて大丈夫だろうか……（深刻）

下の写真は実際に使われた椅子。

なんとなく特急列車みたいな雰囲気です。



当時は連絡船が唯一の交通手段だったので、この船もこの椅子も、色々な夢を運んできたのでしょうか。

船員の制服も展示されていました。

「マリンガール」のたすきが、ノスタルジックな印象です。



摩周丸のスゴイ部分は、通常は見られない操船関係の機器も、見学可能なところです。

下の写真は無線通信室。

実際に座ったり、受話器を取ったり、モールス信号を打ったりできます。



これ、マニアには垂涎モノなんじゃ……？

他には操舵室の機器にもタッチできます。

自分は残念ながら門外漢ですが、詳しくったら楽しいでしょうね。



外へ出ると船首から函館山が見えました。

しかし雨が降ってきたような……？

こんな天気では夜景はちゃんと見えるのだろうか……？



というわけで、今回は摩周丸の紹介でした。
次回はいよいよ(?) 函館山の記事をお届けします。

函館山の夜景 - 2015.09.26 Sat

引き続き函館旅行の様子をお届けします。

摩周丸を見学した後は、ロープウェイで函館山へ。

日没後は激混みだと聞いたので、少し早めに山頂へ向かいました。



うう……。

前から散々言ってるけど、高い場所苦手なのよね……。

というか、高い場所から落ちたら死ぬんだから、恐怖を感じるのは自然なことであって、怖いと思わない人の方が異常だと思うんですけど……（ブツブツ）



いざゴンドラが発進すると、スピードが速すぎて、別の意味でビビりました（汗）

ガイドブックによると秒速7秒だとか。

乗車からわずか3分であっさり山頂へ到着です。



展望台へ出ると、ポストカードなどでよく見る、お馴染みの風景が。

上は日没の30分ほど前で、下は日没直後の様子です。
徐々に光が灯っていく様子が、なんとも言えず幻想的でした。



そして次の写真は、日が完全に沈んだ後。
日中の天気は曇りでしたが、地上の空気は澄んでいるので、特に問題はなかったです。

それにしても、まだ9月下旬だというのに、手が痺れるレベルで寒かったぞ……。



函館の夜景は香港・ナポリと並んで、世界三大夜景の一つだそうです。

個人的な印象は、

- ・ 香港 極彩色のネオンがキラキラ迫ってくる→ 宝石箱みたい
- ・ 函館 白や黄色の淡い光が目の前に無数に広がる→ 星空みたい

ナポリは行ったことないので知りませんが、一口に「素晴らしい夜景」といっても、個性がまったく違うなって思いました。



夜景を十分に楽しんだ後は、「ラッキーピエロ」という、ハンバーガーショップへ。

ここへ来たお目当てはチャイニーズチキンバーガー。
ご当地バーガー No.1 を受賞した、荣誉ある (?) ハンバーガーです。



この唐揚げが、絶妙な甘辛さ！

濃厚で舌に残る味付けは、ハンバーガーもさることながら、白ご飯と一緒に食べたくなる美味しさでした。

ポテトもポテトで、ミートソースやチーズがトッピングされていて、主役級の存在感。
道南にしか出店しない方針だそうです、もし近所にあったら毎日でも通いたいです。



そんなこんなで、今回は夜景編でした。

もはや投稿ブログではなくなっていますが、まだまだ紹介したい場所があるので、もうしばらくお付き合いくださいませ！

函館旅行2日目は、朝市を見学してから、トラピスチヌ修道院へ行きました。

まずは朝市の様子から。

さすが漁港の町だけあって、非常に賑やかな様子です。



時間はすでに9時過ぎなのですが、開業時間はだいたい朝5時からで、早いほど活気があるらしいです。

おおう……。

5時起きで観光なんて自分には不可能や……。



商品はカニ・タコ・イカ等々、海産物のオンパレードで、規格外の大きさでした。

旅行終盤に食べたお寿司も絶品だったし、海鮮好きの人間にとって、函館は天国のようなところですね。



朝市を見学した後は、函館駅から路線バスに乗って、修道院へ向かいます。

昨日は曇りだったけど、今日は青空でいい感じ。

旅行先で天気が悪いと、写真とかで残っちゃう分、悔しいですもんね。



今回訪問するトラピスチヌ修道院は、観光名所として有名ではありますが、実際に使われている修道院です。

なので見られるのは外観だけで、施設内部の見学はできません。

現在はこの場所で 60 名程度の修道女さんが生活を送っているそうです。



こちらは入口。

小高い丘の上にあるせいか、俗世離れた雰囲気です。

やや緊張しつつ足を踏み入れると、聖ミカエル像や聖テレジア像などが。



聖像といい赤レンガの建物といい、まるでヨーロッパの一角のよう。ただ植木は松だったりするので、その部分はなんとも日本的な印象。

周囲の静寂も相まって異世界に迷い込んだみたいです。



敷地内には売店、訪問者用の小さな聖堂、修道院の生活を紹介するパネル展示エリアなどがありました。

いずれも小規模なのですぐ見終わりますが、本物の修道院を見て歴史に想いを馳せるのも、普段はなかなかできない貴重な体験ですね。



そんなわけで今回は、朝市&修道院の話でした。

伸ばし伸ばしでしつこいですが、函館旅行の記事はまだ何回か続きますので、何卒よろしくお願いします。

トラピスチヌ修道院を見た後は、五稜郭タワーへ向かいました。

高さは全長 107 メートル。

五稜郭と同じく星形の構造になっています。



1階には売店やレストランがあって、開放的な雰囲気が漂っています。

ちなみにチケット売場では、観光アンケートで、都道府県を聞かれました。

ちゃんと真面目に回答したけど、USJのターミネーターの前振りみたいに、ボケたらどうなるんやろか……。



なにはともあれ、展望フロアへ。

タワー自体はそこまで高くないのですが、周囲に視界を遮る物（高層ビル等）がないので、非常に広がりのある景観が楽しめます。

ガラスが斜めになっているところも、「見下ろす」感覚が増加していいですね。



どの方向も素晴らしい眺めですが、目玉はなんといっても五稜郭。

おお……！

想像よりもずっと大きい……！



今の季節は敷地全体が緑ですが、春は桜のピンク色、秋は紅葉のオレンジ、冬は雪で白く染まるそうです。

拡大すると函館奉行所が見えました。

この建物自体は、2010年に復元された物だそうです、趣がありますね。



展望台ではお馴染みの、シースルーエリアも↓↓↓

高いところは苦手なのに、怖いもの見たさの精神でつい積極的に覗いてしまう、あまのじゃくな自分。



五稜郭タワーの素敵なのは、パネル解説など、展示が充実している部分です。

こちらは当時の建物を再現した模型。

外の景色に目が行きがちですが、展示を見るだけでも楽しめます。



個人的に惹かれたのは、幕末の歴史を再現した、ミニチュアコーナー。

ペリー来航から函館戦争までが、順を追って展示されています。

服装やら表情やら背景の小物やら、ものすごく凝っているのので、帰りに売店で資料集を買ってしまいました。



というわけで、今回は五稜郭タワーでした。

函館旅行シリーズは、あと2回か3回で終わりますので、もうしばらくの間よろしくお願いします！

五稜郭タワーから降りた後、せっかくなので、公園内を歩いてみました。

当然と言っちゃ当然ですが、地上を歩いている時は、星形かどうかわかりません。
タワーと公園を見る場合、全体像を把握するため、先にタワーへ行く方がいいですね。



なんだか空が曇ってきましたが、とりあえず行ってみましょう。

堀には貸しボート屋がありました。

手漕ぎボートなので大変そうですが、晴れていれば気持ちよさそうです。



橋を渡ると「箱館奉行所」の文字が出迎えます。

奥の暗いところは、藤棚のトンネル。

残念ながら今はシーズンオフでしたが、春には藤の花が満開になるそうです。



下の写真は敷地内にあった、武田斐三郎先生顕彰碑。
五稜郭を設計した蘭学者で「東洋のダ・ヴィンチ」と呼ばれているとか。

像を撫でると賢くなれるそうで、頭がツヤツヤになっています。



近くには大砲がありました。

そもそも何故城郭が星形かという、「どの方角にも砲撃できるように」という、実戦的な理由からだそうです。

間違っても「かわいいから」なんて理由じゃないんですね（当たり前）



敷地の中心には前の記事でも紹介した、箱館奉行所（2010年に復元）があります。

今回は時間の都合で見られませんでした。内部は資料館になっていて、幕末の歴史について学べるそうです。



というわけで、五稜郭は以上です。

ここからはオマケ。

地元のコンビニ、ハセガワストア。



大きな看板が出ていますが、この店のやきとり弁当が絶品だそうで、お昼ご飯に食べてみました。

ただし、やきとりと言っても豚肉です。

北海道ではそれが普通らしいですが、これがもうゲキウマすぎてヤバイ！



今回の旅行中に食べた食事は、どれも例外なく美味しかったです、一番感動したのはこの弁当かもしれません。

冬場は雪や寒さで大変そうですが、肉も魚も野菜も美味しいなんて、北海道の人がうらやましい限りです。

元町の洋館巡り - 2015.09.30 Wed

こんにちは、らくだです。

函館旅行シリーズ最終回の今回は、洋館巡りの様子をお届けします。

函館山の山麓・元町には、明治～大正の洋館が多数あり、観光名所になっています。



こちらは元町の坂道ですが、非常に絵になりますね。

ゆるやかな坂道をのぼり切ると、旧函館区公会堂があります。
完成は1910年で国の重要文化財に指定されているそうです。



天気のせいか写真は白っぽく見えますが、実際の壁はパステルブルーで、重厚ながらも可愛らしい印象でした。

1階には寝室や応接室があり、2階には豪華絢爛なホールが。
全盛期にはここで舞踏会や音楽会が開催されていたそうです。



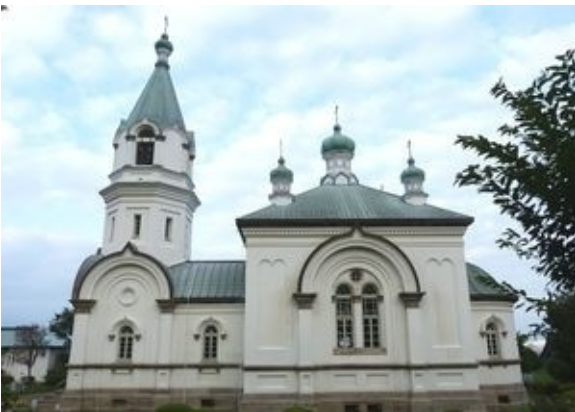
窓からは函館の町が一望できました。
こんな場所で舞踏会なんて本当にオシャレですね。

一方こちらは、トイレの様子。
再現した物だと思いますが、陶器ではなく木って部分が、歴史を感じさせます。



公会堂を見学した後は、元町の教会巡りです。

まず最初に訪ねたのは、函館ハリストス正教会。
日本最古の歴史を誇る、ロシア正教の教会です。



続いては函館聖ヨハネ教会へ。
独特のデザインが印象的（下の写真）な、英国プロテスタントの教会です。

元町の教会は美しさもさることながら、キリスト教の主要な宗派が一か所に揃っている、全国でも珍しい場所だそうです。



最後はカトリック元町教会へ。
尖塔の上にある風見鶏が印象的です。

見学は16時までなんですけど、ギリギリ時間を過ぎてしまい、中へは入れませんでした。



函館旅行シリーズは以上です。
観光にグルメにショッピングに、とても充実した3日間でした。

最後に、帰りの飛行機に乗る前の写真。
最終日はザーザー降りでしたが、帰るだけなのでよかったです。



次回からは通常更新に戻ります。

旅行ネタを引っ張り過ぎたせいか、アクセス数が微妙に減ってしまいましたが（汗）、またよろしくお願ひします。